

学校教育目標：「向学 自主 協働」

校訓：「夢を実現」



川通中だより

令和7年8月27日 第5号
さいたま市立川通中学校
TEL 048(799)1061
川中キャラクター ホームページ



～スローガン：「一生懸命はかっこいい」～

「私たちが今できることは」

校長 鈴木 純

各地で「観測史上初」という言葉が更新されたこの夏。猛暑、いや酷暑という言葉ではくくれないほどの暑さが続いた夏休みでした。その暑さはいつまで続くのでしょうか。今年初めてツクツクボウシの声を聞いたのは、なんと、夏休みに入った7月の下旬「あれ？どこかおかしいよね。最近、季節の感覚が狂ってきたな」と感じざるを得ません。この暑さで、水がめであるグムの水がほとんどない状態で、お米の育ちも水不足により、しっかりと育ってないという生産地もあるとのこと、心配です。

さて、前述のような気候変動は、「地球温暖化の影響である」とテレビで特番を組んで放映されていました。そんな中、過去にさいたま市タウンミーティングを傍聴したことを思い出しました。タウンミーティングとは、清水市長がまちづくりの一環として市民の意見を聴く取組で、各区で毎年行っているものです。

その時のテーマが「地球温暖化対策について考えよう～みんなでアクション ともに未来へ～」というものでした。まさに、現在直面している大きな課題です。さいたま市では、ゼロカーボンシティ宣言(2020年7月)を皮切りに、さいたま市気候非常事態宣言(2021年5月)、SDGs未来都市の選定(2019年7月)と目標を掲げるとともに様々な取組がなされているとのことでした。

市長自らが進行役となり、冒頭に「地球温暖化とは」「地球温暖化をめぐる世界等の動向(SDGs、カーボンニュートラル)」「さいたま市の取組について」の3点について、スライドを活用して参加者にレクチャーをされていました。参加者は、高校生以上の男女の方々に10人くらいでしょうか。その後、「意見交換」という形で会が進みました。意見交換の際は、柱となる項目、「①さいたま市の地球温暖化対策について ②今後重点的に取り組んでほしい分野について ③身近に始める地球温暖化対策について」の3つが用意され、発表者は各項目に対しての意見をあらかじめ準備して発表する形式でした。

ところで、みなさんは、「地球温暖化対策について」どんな考えがありますか。「夏ならばエアコンの設定温度を通常よりも高めにする」「冷暖房の効率がいいようにエアコンのほかに扇風機を活用する」「マイバッグをもって買い物に行く」「冷蔵庫を開けている時間を短くする」など、いろいろなアイデアが浮かぶと思います。

タウンミーティング中に参加されたみなさんの発表は、地球温暖化対策として、自分たちで身近にできることや市への要望、時間を要するが、長い期間を見据えて取り組めたらよいというような前向きな意見を活発に発言されていました。中には、ご高齢の方でしたが、「自分はエアコンをつけないで生活している」と発言をされて、市長から「健康のためエアコンをつけられたほうがいいですよ」と気遣われていた場面がありました。また、電気自動車の普及のために、市から購入金の補助や充電ステーションの拡充。緑を増やす取組として、住宅を建設するにあたり敷地内に必ず樹木を植える。電柱の代わりに街路樹を植えて木陰を増やす。そして、市民の意識を改革するための教育活動や啓蒙活動の必要性など、様々な意見が出されました。

各々の発言について、真摯に耳を傾けていた市長は、全員の発表が終わった後、一人ひとりに対して、丁寧にコメントをされ、全体を総括し終了の運びとなりました。

日本のみならず世界規模で、この高温が続いています。これを当たり前のこととか、しょうがないことと感じられてきたら大変なことになります。北極と南極を合わせた地球全体(全球)の海水域面積が、2025年2月、人工衛星による観測史上最小値を記録したとのことでした。そして、2010年代平均の最小値と比べると、10年ほどの間に日本の面積の4倍の海水域が失われていることになるそうです。一部の科学者たちは大幅な減少を気候危機のひとつの兆候と警告しています。現在、地球において様々な変化が見られています。私たちも「地球温暖化」について、じっくり考え、できることを進めていけるといいですね。